

山形県指定有形文化財「お花山古墳群出土品」資料公開

令和8年1月9日（金）～2月17日



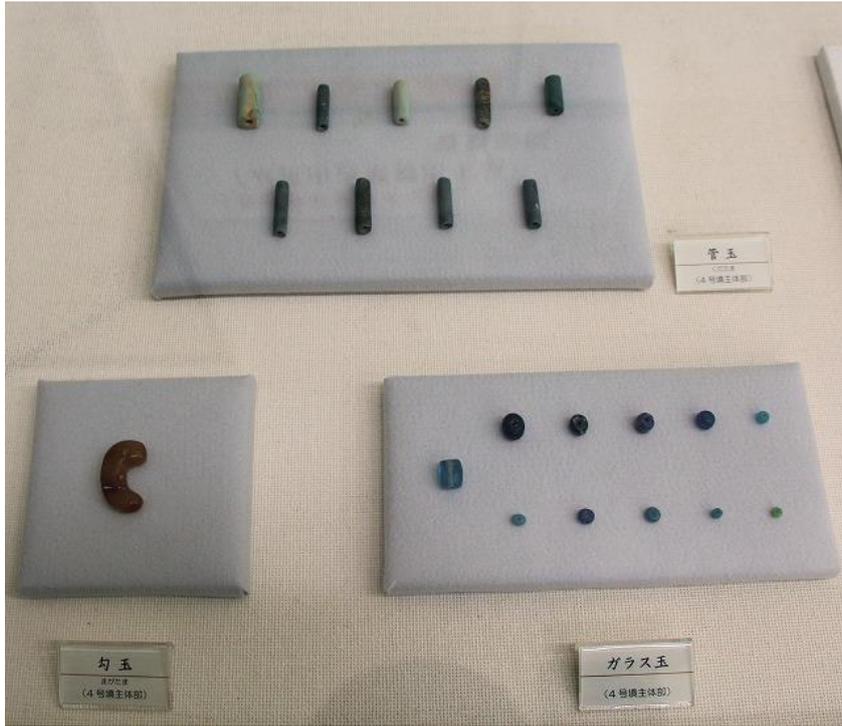
エントランス看板



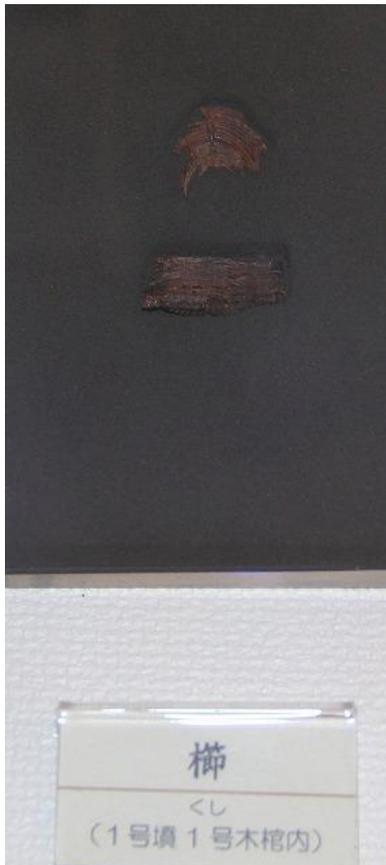
展示状況



1号墳10号棺出土鉄剣



4号墳出土勾玉・管玉・ガラス玉



1号墳1号木棺出土櫛



16号墳木棺出土櫛



3号墳木簡出土鉄留金具



3号墳木棺出土鉄鉾



24号墳木棺出土鉄鋸



1 2号墳木棺出土鉄鏃



12号墳木棺出土鉄鏃



24号墳木棺出土鐮子



3号墳木棺出土紋具



お花山古墳群出土の刀子



3号墳木棺出土砥石



1号墳1号棺出土の紡錘車



お花山古墳群出土の土師器

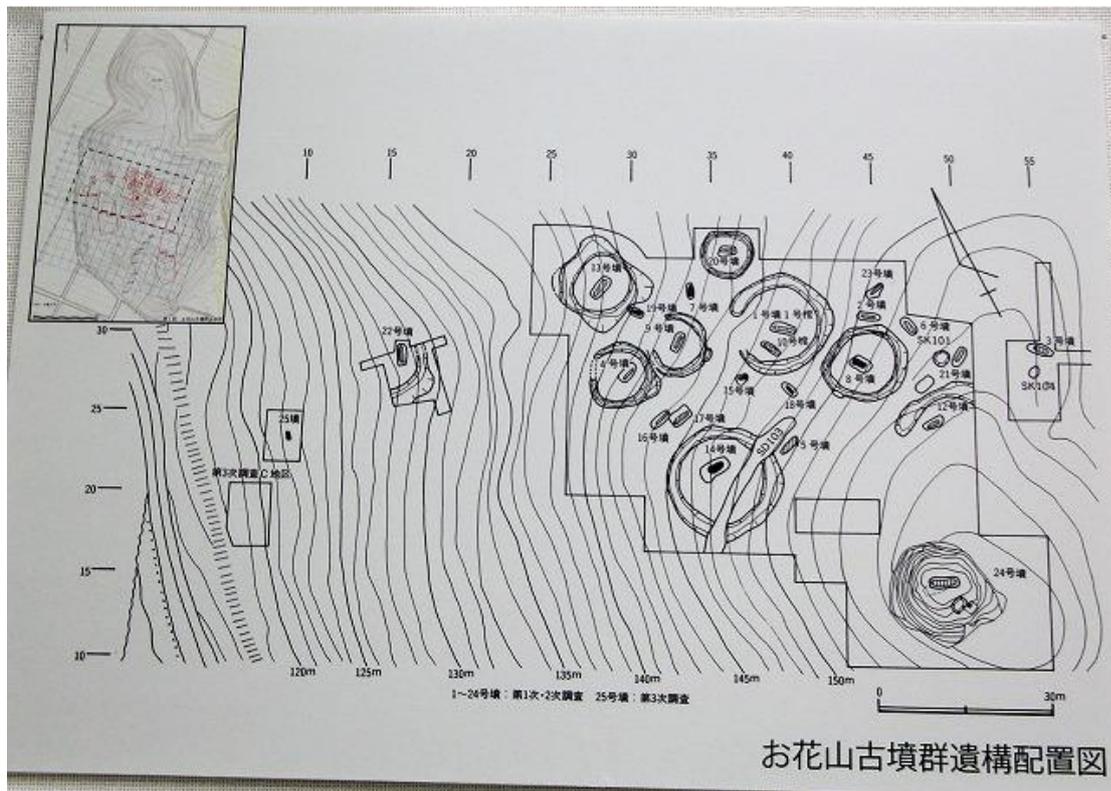
はなやまこふんぐん
お花山古墳群について

お花山古墳群は、山形市北東部の青野地区、お花山の丘陵に分布する5世紀後葉～6世紀後葉にかけての古墳群です。東北横断自動車道酒田線建設に伴い、1982・83・86年に山形県教育委員会により25基について発掘調査が行われました。

見つかった古墳は、直径約7～19mの小規模な円墳群で、内部主体は木棺直葬と箱式石棺の両様があり、山形県内初の出土例となる振文鏡（1号墳）、乳文鏡（22号墳）が発見されました。

お花山古墳群位置図

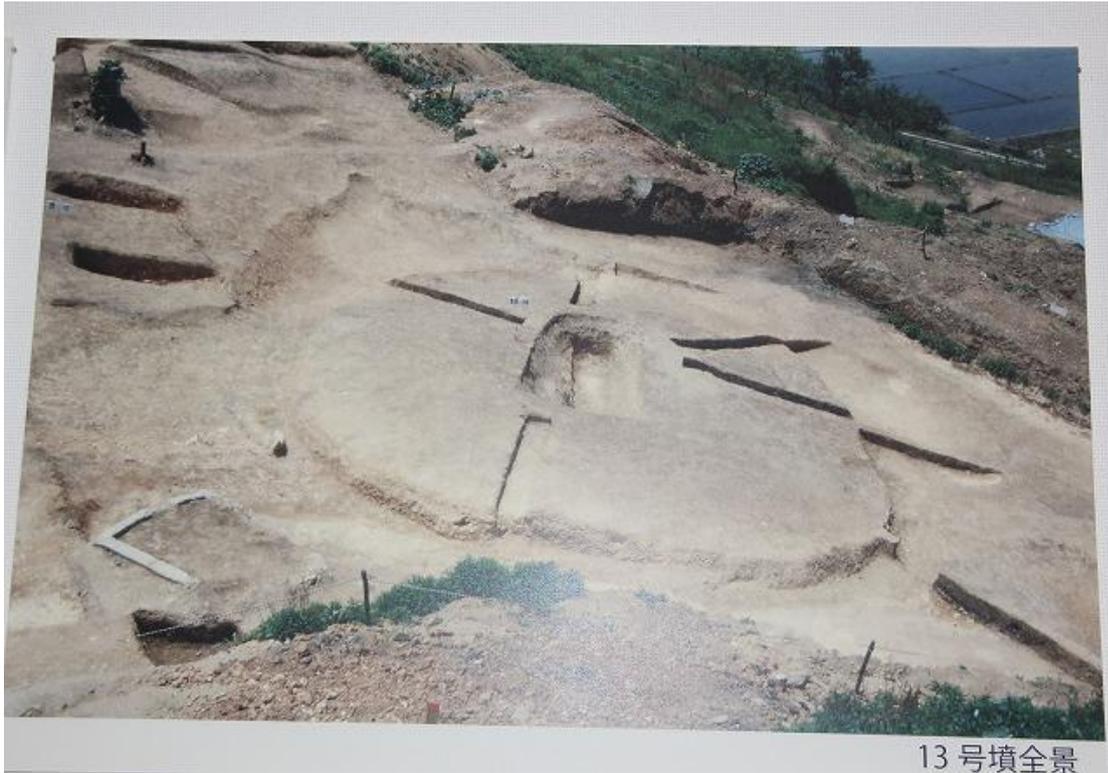
お花山古墳群説明パネル



お花山古墳群配置図



お花山古墳 J 発掘調査時の航空写真



13号墳全景

お花山古墳群 13号墳全景



調査風景

お花山古墳群調査風景

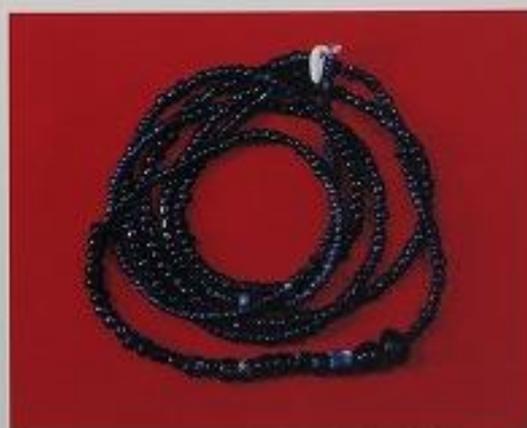
お花山古墳群出土品について

古墳からは、県内初の出土例である青銅鏡をはじめ、出土例の少ない馬具を含む鉄製品、石製品、ガラス玉などの豊富な副葬品が出土し、被葬者の性格を考えるうえで貴重な資料として注目されました。また、各古墳の時期を考察するうえで標識となる土師器・須恵器が同時に出土しており、これらの遺物は概ね6世紀代の古墳時代後期前葉のものと推測されました。

出土品は一括して、山形地域の古墳文化を研究するうえで貴重な資料であることから、平成11年12月3日に、「お花山古墳群出土品 附 鉄鏃残欠 一括 円筒埴輪残欠一括」として755点が県指定有形文化財に指定されました。



22号墳出土乳文鏡（修理前）



1号墳出土ガラス玉

保存修理事業について

発掘調査で出土する金属製品は、当時の人々の営みや製作技術を知るうえで大変貴重な資料ですが、金属製品は土に埋まっている間に錆びて崩壊したり、発掘調査で掘り出されたことにより新たな錆が発生して崩壊してしまうこともあります。

お花山古墳群出土の金属製品のうち銅鏡・鉄製品等 146 点については、平成 18 年～ 23 年に保存処理を実施しています。しかし、当時、保存処理を実施していなかった一部の金属製品に新たな錆の進行が確認されたため、山形県では令和 2 年度に国庫補助金を受けて保存修理事業を実施しました。

保存処理作業は委託を受けた専門の業者が行っており、大まかに対象資料の事前調査・記録、クリーニング・洗浄、脱塩処理、樹脂含浸・塗布、復元・整形、仕上げ、処理後の調査・記録という工程で実施しています。

令和 2 年度は 22 点の保存処理を行い、これによりお花山古墳群出土の金属製品については、全ての保存処理を終えることとなりました。

保存処理の流れ



1 事前調査・記録

保存処理前の状況を詳細に観察するとともに、法量・重量の計測や写真撮影を行い、現状を記録します。



2 X線透過写真撮影

肉眼では判別できない遺物の輪郭や亀裂等を確認するため、X線透過写真撮影を行います。その後、処理方針を検討していきます。



3 1次クリーニング

デザインナイフや精密グラインダーを使って付着した土や不要な錆の除去を行うとともに、洗浄液を使用して錆や汚れを落とします。



6 2次クリーニング

顕微鏡で観察しながら、1次クリーニングで落としきれなかった余分な錆や汚れを除去していきます。



5 樹脂含浸

水分を完全にとばした後、アクリル樹脂に浸して、遺物を強化するとともに錆の原因である酸素との遮断をはかります。



4 脱塩処理

錆の原因となる塩化物イオンを取り除くため、溶液に漬け込んで内部の塩素を溶出させていきます。これを「脱塩処理」と呼びます。



7 復元・整形

接合可能な遺物は、エポキシ樹脂系接着剤を用いて接合します。併せて、隙間部分や欠損部を復元していきます。



8 復元部分の彩色

復元部分にはアクリル樹脂絵具を使って補彩を行います。仕上げに、表面につや消しの処理を施します。



9 保存処理後の調査・記録

完成後、処理前の状況と比較して確認・点検を行うとともに、写真撮影を実施して処理後の状況を記録します。